

農 業

改 訂 の 要 点

教科及び科目の目標については、産業界で必要とされる資質・能力を見据えて三つの柱に沿って整理し、育成を目指す資質・能力のうち、(1)には「知識及び技術」を、(2)には「思考力、判断力、表現力等」を、(3)には「学びに向かう力、人間性等」を示した。

農業科の目標の主な改善点としては次の四点が挙げられる。

第一に、生徒や学校の実態、指導の内容に応じ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続可能な発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成を目指すようにすることから、「農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなど」を示した。

農業科で育成を目指す人材像を「農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人」とし、必要な資質・能力の育成を目指すこととした。

第二に、農業や農業関連産業は、農業に関する個別の知識や技術ではなく、それらが相互に関連付けられるとともに、具体的に農業や農業関連産業と結び付くなどした知識や技術などを身に付けるようにすることから、「農業の各分野について体系的・系統的な理解、関連する技術を身に付けるようにする」ことを示した。

第三に、明瞭な答えがないことの多い社会において、地域や社会が健全で持続的に発展する上での具体的な課題を発見し、利益や効率、成果だけを優先するのではなく、職業人に求められる倫理観をもって、課題に向き合い、様々な地域資源などを活用し、科学的な根拠に基づき、創造的に解決する力を養うことを示した。

第四に、職業人に求められる倫理観などを育み、農業や農業関連産業を通じ、地域農業をはじめ地域社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な豊かな人間性、よりよい社会の構築を目指して自ら学びに向かう力、社会の健全で持続的な発展のため、自己の役割を認識し、当事者としての意識をもって、組織の内外と協働して農業の各分野の創造と発展に取り組む態度を養うことから「職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の発展や振興に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う」ことを示した。

各科目の目標については、教科の目標を踏まえるとともに、農業や農業関連産業で必要とされる資質・能力を見据えて改善を図った。

○ 農業科の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

農業科においては、農業や農業関連産業に従事する上で必要な資質・能力を育み、地域農業や地域社会を支える人材を育成してきた。我が国の農業は、食料を安定的に供給するとともに、食品産業や国土保全などの農業関連産業並びに地域経済を支える重要な役割を担っている。また、農村は、高品質な農産物を生産する技術、持続性に優れた生

産圃場である水田，世界に評価される伝統的な食文化など地域資源として潜在的な価値を有している。そのような農業・農村を教材とした農業学習は，グローバル化や環境保全を考慮した持続可能な農業の発展を念頭に，暮らしや地域社会を創造し，持続可能な社会の形成に寄与する人材の育成をねらいとしている。

そのねらいを達成するために農業学習の特質を踏まえ，「農業科の目標」を上記のように示し，各科目の目標の基盤とした。この目標では，農業や農業関連産業に必要とされる資質・能力を見据え，どのような考え方で思考していくのかという物事を捉える視点や考え方を示すとともに，育成を目指す資質・能力の三つの柱として，(1)を「知識及び技術」，(2)を「思考力，判断力，表現力等」，(3)を「学びに向かう力，人間性等」と教科目標に示し，具体的には次のような視点で整理した。

1 「農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農業や農業関連産業を通じ，地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」について

農業の見方・考え方を，「農業や農業関連産業に関する事象を，安定的な食料生産と環境保全及び資源活用等の視点で捉え，持続可能で創造的な農業や地域振興と関連付けること」としている。これは，農業や農業関連産業に関する学習を学校農場や実習施設などで**実践的・体験的な学習活動**を通して学び，食料生産や環境保全及び資源活用の現状を認識するとともに，持続可能で創造的な農業や地域振興の観点からこれからの農業のあるべき姿を見だし，地域農業や地域社会の課題解決へ向けた学習活動を進めていくことを示している。

その学習活動で，「主体的な学び」という視点では，キャリア形成を見据えて生徒の学ぶ意欲が高まるよう農業や農業関連産業に触れる機会を設けるとともに，「対話的な学び」では，自らの考えを深め，広げる機会として地域農業界の関係者等との対話や生徒同士の協議を設けることも重要である。また，「深い学び」では，地域農業や地域社会の持続的な発展につながるよう，学んだ各教科での学習を生かしながら具体的な課題に取り組むことが大切である。

ここでは，農業や農業関連産業の発展だけを考えるのではなく，**地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する視点**が重要である。

2 「(1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。」について

農業の各分野については，農業科に属する科目を4つに分類し，農業生産や農業経営，食品製造や食品流通，国土保全や環境創造，資源活用や地域振興の分野とした。

農業や農業関連産業は，農業に関する個別の知識や技術だけではなく，社会の中で活用する知識や技術などと相互に関連付けられたものが多いことから，**体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けることが大切**である。また，将来の職業を見通してよりよいものを創造できるよう発展的に学び続ける資質・能力を身に付けることも重要である。このように発展的に学び続ける資質・能力を身に付けるためには，授業だけではなく，学校農業クラブ活動による地域活動や各種競技会への挑戦など，目標を明確にした学習活動へ取り組むことも重要である。

3 「(2) 農業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。」について

これは，農業学習を通して未来を切り拓くための力を養うとともに，**農業や農業関連産**

業に関する課題を発見し、利益や効率、成果だけを優先するのではなく、課題に向き合い、科学的な根拠に基づき答えを導き、**職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う**ことを意味している。

このような力を養うためには、農業や農業関連産業に関する知識と技術を体系的・系統的に身に付けるとともに、農畜産物の生産活動や販売及び地域環境の保全や管理などの学習活動を通して、農業学習の中で見いだす様々な課題に対し思考しながら解決を図るなど実践する力を培うことが大切である。

また、地域資源を活用した商品開発、地域産業の振興に関する提案には、学校での学習活動だけでなく、地域へ出かけ地域社会や市場などの現地調査により現状を認識し、農業経営者や地域活動の実践からあるべき姿を見いだすことが重要である。その場合、情報通信技術を活用した合理的な協議などにより、複合的に課題解決策を見いだす学習活動も重要で、将来、地域産業を担う当事者として意識を高めていくことも必要である。

4 「(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。」について

これは、身に付けた知識や技術を活用し、思考力、判断力、表現力などを、どのような方向で働かせていくかを決定する重要なものである。ここでは、社会の信頼を得て、農業や農業関連産業に従事するための倫理観、遵法精神、規範意識、責任感、協調性、リーダーシップなど社会を担う**職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う**ことを意味している。

このような態度を養うための学習活動には、他者との協議により課題の解決策を見いだすこと、他者の考えを踏まえながら、対立する意見であっても自己の意見を整理し伝えること、地域を学びのフィールドとして、様々な職業や年代の方々とつながりながら協働して取り組むことなどが重要である。

教科「農業」の新旧対照表

改 訂	従 前	備 考
<p>農業と環境 課題研究 総合実習 農業と情報 作物 野菜 果樹 草花 畜産 栽培と環境 飼育と環境 農業経営 農業機械 植物バイオテクノロジー 食品製造 食品化学 食品微生物 食品流通 森林科学 森林経営 林産物利用 農業土木設計 農業土木施工 水循環 造園計画 造園施工管理 造園植栽 測量 生物活用 地域資源活用</p>	<p>農業と環境 課題研究 総合実習 農業情報処理 作物 野菜 果樹 草花 畜産 農業経営 農業機械 食品製造 食品化学 微生物利用 植物バイオテクノロジー 動物バイオテクノロジー 農業経済 食品流通 森林科学 森林経営 林産物利用 農業土木設計 農業土木施工 水循環 造園計画 造園技術 環境緑化材料 測量 生物活用 グリーンライフ</p>	<p>分類整理 名称変更 分類整理 分類整理 整理統合 名称変更 整理統合 整理統合 名称変更</p>